

八戸工業高等専門学校 同窓会会報

八戸高専同窓会 第39号
発行日 平成25年7月

同窓会会報39号の目次

自動車工学部 Honda エコランで3位入賞! ・ 1	学内ニュース ・ 7
会長あいさつ ・ 2	学科からのメッセージ ・ 10
校長あいさつ ・ 3	平成25年度 事務局短信 ・ 12
支部会報告 ・ 4	平成24年度 事業報告 ・ 13
私のお仕事紹介します ・ 6	第22回総会(八戸)報告 ・ 13

自動車工学部エコラン3位入賞!



会長あいさつ



ニューカレドニア

【同窓会会長 山本 修】

長い冬が過ぎ、若葉薫る五月になり、心地よい太陽の光が届き、何をすることもよい季節なのですが、今年は異変が起きています。北海道では季節外れの雪、関東以西では季節外れの真夏日、我が八戸は一向に春の陽気が感じられない今日この頃です。

この会報が、皆さまに届く頃には、約1ヶ月間のニューカレドニアでの仕事を終え、帰国の途に付いていることと思います。ニューカレドニア（フランス語：Nouvelle-Calédonie）は、フランスの海外領土であり、森村桂の旅行記「天国にいちばん近い島」（1966年出版）で紹介されました。人口は約23万人であり、旧八戸市とほぼ同じです。本島全体がニッケル鉱石であり、世界の四分の一を埋蔵していると推定されています。成田空港から直行便で8時間半の南半球の島国です。

2年前の初夏、八戸にあるT社と技術交流のあるニューカレドニア最大都市ヌメアにある企業からT社で稼働中の設備と同じものを設置したいと商社を通じて連絡が入った。我が社始まって以来の輸出製品の話である。

その年の9月末に、ニューカレドニアとフランス本社のエンジニアが来社して、当社の生産工場視察と概要打合せ、10月には現地調査、昨年2月末に受注後の初打合せのためにニューカレドニアを訪問した。その後、製品を製作して9月に発送

を行い、昨年12月に据付・試運転を実施する予定でした。出発2週間前に、工事延期の連絡を頂き、再度、工程調整のために現地訪問をした。今回は、6ヶ月遅れの工事のための訪問となった。

過去3回の訪問は、全行程1週間程度であることから、仕事以外でニューカレドニアを感じる事が出来なかったが、今回は休日を利用してニューカレドニアを見て・感じて来たいと考えています。また、今回で終わることがないように、次回の仕事作れるように頑張っておきたいと考えています。

同窓会から会員の皆さまへの会報などは、印刷物で郵送して参りました。皆さまから納付頂きました会費を有意義に使用するため、今年度から印刷物の発送を極力削減し、インターネットで何処でも見られるように方向転換をすることにしました。手始めに、会報を同窓会ホームページで閲覧すること始めました。今後は、皆さまと意見調整を行い、パソコン・スマートフォン・タブレット端末が有効に使用出来るような環境作りを進めて参りたいと考えております。

本校は、昭和38年4月、第二期校として開校し、今年創立50周年を迎えることになりました。この間に、6千数百名の卒業生を世に送り出してきました。創立50周年を迎えるにあたり、実行委員会が設立され、幾多の事業が計画・推進されております。同窓会本部初め、各クラスの発起人が中心となって、この事業の推進に全面的に協力をしております。しかし、多くの同窓会会員の協力が、得られていないのが現状です。これから同窓会評議員・各クラス幹事を中心に「少額多人数」をモットーにして、多くの同窓生から協賛頂けるよう努力して参りますので、ご協力をお願いします。

校長あいさつ



【特別会員・学校長 岡田 益男】

本校は昭和38年に国立高等専門学校第2期校として設置され、平成25年には創立50周年を迎えることになりました。本校が50周年の記念の年を迎えられたのは、この50年間の本校卒業生、教職員、後援会、ご支援いただいた地域や産業界の皆様のおかげであり、篤く御礼申し上げます。特に卒業生の皆様のご活躍により、就職率100%を堅持するなど、社会から高い評価を頂いていることにあらためて、感謝申し上げますと存じます。

当初は3学科で発足し、昭和43年に4学科となり、平成14年には、専攻科が設置され、平成16年に独立行政法人国立高等専門学校となる改革がなされ、現在に至っております。この間に本校を巣立った卒業生は、本科生6373名、専攻科生は205名にのぼり、専門技術者や研究者、企業経営者として、国内外の広範な分野において第一線での活躍が認められ、産業界、学术界から高く評価されております。高専の発足当初の教育

目標は「中堅技術者の養成」でしたが、社会や産業構造の変化に対応すべく、「実践的・創造的技術者の養成」へと変化しております。その間、高専は五年一貫教育を基本とし、準学士として直ちに実務に就くコース、大学3年への編入学、専攻科の設置後は、国際相互承認された学士水準の教育（JABEE技術者認定コース）、専攻科修了後の大学院への進学など、多様なキャリアパスが選択可能となり、より一層充実した高等教育機関としての性格を有するようになっております。

創立50周年を迎えるに際し、これまで培われてきた本校の輝かしい伝統や歴史等を礎として、新しいグローバル時代に活躍できる国際的・実践的・創造的技術者育成に向けて、創立50周年記念事業実行委員会を組織し、記念式典・講演会等の開催、記念講義室の整備などを予定しております。また、卒業生全員の写真誌を載せた50周年記念誌を発刊する予定です。さらに50周年を節目として、同窓会の皆様の充実したネットワークを形成できるように支援させていただきたいと存じます。

最後に、記念事業の実施に際し、ご協力いただいた同窓会や後援会の皆様に温かいご支援とご協力に対して、深甚の感謝を申し上げます。今後とも本校発展のために一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支部会報告

関東支部より

【八戸高専同窓会関東支部 戸田 和孝】

八戸高専同窓生の皆様には日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

同窓会関東支部ではこの1年間にサロン会を2回開催いたしましたので、その内容を以下にお知らせいたします。なお、関東支部ではこれからも種々の活動を継続しますので以下のメールアドレスにご連絡いただければ随時活動情况等をメールにてご連絡いたします。

tod.kaz@r2.dion.ne.jp



関東支部サロン会での一枚

第26回サロン会 2012/6/2 開催

東京駅八重洲口の貸会議室にて E 科 4 回生の豊巻博志さんより、「今だから言える現場の裏側と定年後の生き方」というタイトルにてお話ししていただきました。

第27回サロン会 2013/05/11 開催

東京・東日本橋の貸会議室にて E 科 8 回生の戸田和孝さんに「海外取引経験の話題と定年後の再就職」というテーマでお話ししていただきました。

ある自動車会社の組立てラインが当社納品の LAN システムの不具合で5時間余り停止した時の客先対応等の苦労話をお話ししていただきました。また、海外輸出業務担当時に海外の関連会社は無償で輸出した金型を使用して生産した製品を日本に輸入する際に、金型の償却費用が加算されていなかったとの指摘を税関の事後調査で受けて、かなりの重加算税を取られてしまった等、難しく慎重な対応が必要であることをお話ししていただきました。

関東支部では今年度もサロン会をメインとした活動を継続いたしますので、同窓生の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

僕は足裏マッサージをする

【八戸高専関西支部 村田 明彦】

僕は足裏マッサージをする。

親父が 88 才で逝ったので、僕も 88 才まで生きる。

しかも、親父のように、死ぬまで元気、ピンピンコロリで生きたい。

女房は、僕より絶対長生きすると言い張っている。

親父の隠居後の生き方を見てると、三つのポイントがあった。

一つ目は食事、二つ目は趣味、三つ目はボランティアだった。

僕のピンピンコロリ実行作戦その一。

僕は朝食は毎日自分で作る。低速ジューサーで野菜ジュースを作り、豆乳を作り、

特製おからも作っちゃう。女房の分まで。もちろん後片付けも。

健康な食生活も女房任せは良くない。上手くいかないとすぐ人のせいにしちゃうから。

僕のピンピンコロリ実行作戦その二。

クヨクヨしない。現実には全部一旦受け容れる。好奇心に任せ趣味を広げる。

最近では、書道、篆刻、畑仕事、山登り、剣道、それに以前からしていたサイクリング、ゴルフ、ウォーキングなど趣味の合間を縫って仕事をするくらい沢山の趣味を女房や仲間と楽しんでいる。

しかし、最近なんか違うんじゃないかなあって思って少し考えました。

僕の趣味は全部、自分の楽しみみの為のもので、他の人を喜ばせるものはないってこと。

親父は 88 才で倒れる時まで、人の為になにかしていた。みんなの為に雪片付けをしたり、

近所の足の不自由な人を車で送ってあげたり、近所の子供に挨拶をするように教えたり、老人会の世話役をしたり、小さいことだけど人の為になる事をずーとしていた。

僕のピンピンコロリ実行作戦その 3

僕は小さい時から祖母の肩を揉んでいたもので、手の親指が指圧に最適な形になっていて、

女房に言わせると、私の指は「神の指」。それで考えたのです。老人ホームのお年寄りの方々に、ボランティアで足裏マッサージをしようと。

来月からできるように準備をしようと思っています。

ちょっと単純すぎるかもしれないけれど、私の経験上、「単純に考え、単純に行動した時の方が圧倒的にいいことが多かったのです。」第一、考えすぎた時は、行動に移すまで行かないことが多いですから。

人が気持ち良くなれば、自分も気持ち良くなる。情けは人の為ならずって言いますものね。

これで僕もピンピンコロリだ。

私のお仕事紹介します

ご存じですか？区画整理

八戸市 都市整備部駅西区画整理事業所

Z26 山道健一

私は、八戸駅西側の土地区画整理事業を行っている駅西区画整理事業所に勤務しており、計画換地グループの一員として事業計画や土地管理等の業務をしています。

土地区画整理事業という言葉は初めて目にする方もいらっしゃると思いますので説明しますと、都市計画区域で道路・公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業となっています。公共施設が不十分な区域では、地権者からその権利に応じて少しずつ土地を提供してもらい（減歩といいます）、この土地を公共用地増加分に充てる他、その一部を売却し事業資金の一部に充てる事業制度となっています。地権者としては、事業後の宅地面積は小さくなりますが、周辺の公共施設が整備され、土地の区画が整うことにより、利用価値の高い宅地が得られることとなります。

このような都市計画事業に携わることができましたので、技術者として日々研鑽し住みよい街づくりを目指していきたいと思えます。



仮換地の測量作業中です

「明日」を照らす仕事

アステラス ファーマ テック株式会社

高萩技術センター 製造技術2部 合成開発1課

C33 田村文彦

旧山之内製薬に入社して13年、合併やグループ会社化を経て「アステラス ファーマ テック株式会社」に在籍しています。入社当初は商用原薬製造、ここ数年は開発用原薬製造に携わっていますが、設備導入業務等に参画することも少なくありません。

現在は高萩技術センター内に建設される新棟のプロジェクト業務に参画しています。この新棟は、がん領域を中心とした高薬理活性の開発用原薬の安定供給を目的として建設されます。製造を担う部門の一員として参画することで、現場目線での安全対策を第一に、より品質の高い原薬を安定して製造できる設備づくりを目指しています。

薬は最終的に患者さんのもに届けられますが、治療薬が存在せず新薬の開発を待ち望む患者さんが多い事も事実です。1日でも早く治療薬を患者さんのもに届け、少しでも多くの人たちの「明日」を照らすことができるよう、これからも「ものづくり」を通して貢献していきます。



新棟における配管敷設確認作業（手前が筆者）

学内ニュース

新任教員紹介

【電気情報工学科・助教 佐々木修平先生】

本年4月より電気情報工学科の助教として着任しました、佐々木修平と申します。福島高専の本科と専攻科を卒業し、東北大学の博士課程を経て、現在に至っております。



今の私がいるのは、学生時代に多くのすばらしい先生方に会い、良い指導をしていただいたおかげだと思っています。高専では、工学の基礎や現象の不思議さ、面白さ、団体行動としての協調性を学び、東北大学では、物事（現象）の捉え方、考え方を教えていただき、私を大きく成長させてくれました。非常に誇らしく思っております。こうした経験から先生という立場にあこがれを抱き、高専に先生という立場で戻って来られたことに喜びと責任を強く感じております。

校長先生をはじめ、電気情報工学科の先生方にお声掛けしていただくとともに、温かく迎え入れていただいたことに、大変感謝しております。

学生たちが悔いのない青春を送ってもらえるように、私が学生時代に感じたこと、経験したことを活かして指導していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【物質工学科・助教 三浦将典先生】

物質工学科の助教として昨年度9月に着任しました、三浦将典と申します。担当科目は物質工学科1年の基礎化学Ⅱ、3年生の無機・有機化学実験、4年



生の物質工学実験Ⅰ、5年生の有機合成化学Ⅱ、専攻科1年の物質工学専攻実験を担当しております。

私は12年ほど前に八戸高専の物質工学科を卒業後、八戸高専専攻科、物質工学専攻に第1期生として入学しました。その当時はまだ専攻科棟が完成しておらず、授業のたびに様々な教室に移動していたのを覚えています。そして専攻科の修了式の翌日に完成したばかりの専攻科棟の内部に初めて入ったのは今となってはいい思い出です。今では専攻科棟を後輩である専攻科11期生と12期生が使用しているのを見て、きちんと勉学や研究活動に励んで社会に貢献できるような人材になってもらいたいと思うと同時に、私も母校に帰ってきたのだから今の学生に負けないように頑張らないといけないと思っています。

八戸高専に着任後、岡田校長先生をはじめとして学生時代に卒業研究を指導していただいた大久保先生、学科長の中村先生、そして私の学生時代を知っている物質工学科の先生方に温かく迎え入れていただきまして大変感謝しております。学生時代に先生方にご指導いただいたこともふまえて、在学生の教育や研究活動に全力で頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

【建設環境工学科・准教授 青木優介先生】

現在、全国の国立高専では「高専・両技科大間教員人事交流制度」という制度が動いております。「高専教員が1年間以上、他の高専や技術科学大学に所属して色々と経



験してくる」という制度です。私はこの制度により、本年4月から来年3月までの1年間、八戸高専の建設環境工学科に所属させていただくことに

なりました。

「千葉県にある木更津高専からの交流先として、なぜ八戸高専を選んだのか？」と聞かれることがあります。「私の姓が青木で、妻の旧姓が林でしたので、青森に縁があったのだと思います」というのは事実ではありますが、もちろん本当の理由ではありません。7～8年前、木更津高専で JABEE 受審や混合学級の導入に関する委員を務めていた私は、その先行例を調べようと、八戸高専を訪れました。そこで私と同じ専門分野（コンクリート工学）であられる菅原先生にインタビューさせていただいたのですが、その際、菅原先生の教育・研究への真摯な姿勢に感銘を受けました。これからも高専でコンクリート工学の教員を務めていく自分にとって、その姿勢を学ぶことが大事だと考えておりましたところ、今回の機会を得ることができましたので、八戸高専を選ばせていただいた次第です。

八戸に来てからは、岡田校長先生や菅原先生、学科長の南先生をはじめとする教職員の皆様から多くのご親切をいただいております。わがままで未熟な私ですが、そんな私を快く受け入れていただいた八戸高専の少しでもお役にたてるよう務めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

平成 24 年度の学内ニュース

本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2012 第 32 回全国大会

栃木県で平成 24 年 9 月 16 日に開催された本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2012 第 32 回全国大会（本田技研工業主催）に本校自動車工学部から 2 台のオリジナルマシンが出場しました（大学・短大・高専・専門学校生の部門）。出場台数 390 台が激しく競い合い故障などでリタイアするチームがある中、本校から出場した NP 号 II と BG 号は無事完走を果たしました。そして NP

号 II は本校初の 3 位に入賞しました（参加した高専の中では 1 位）。また BG 号も 4 位と大健闘しました。NP 号 II のドライバーを務めた自動車工学部部長の中田匠さん（機械工学科 4 年）は「先輩たちの頑張りを積み上げてきた結果です」と謙虚に喜びを表し、次回大会で更なる記録の更新を目指していました（表紙写真は大会参加時の集合写真）。

テマセクポリテクニクとの国際交流

平成 25 年 3 月 15 日から 23 日にかけて本校学生とテマセクポリテクニク（シンガポール）との国際交流が行われました。本校からは 2 年生から 5 年生の学生 27 名が、またテマセクポリテクニクからは 21 名の学生が本プログラムに参加しました。プログラムの前半では東京での江戸文化研修や十和田奥入瀬自然研修を実施し日本に対する理解を深めました。また、後半では PBL（Problem based learning：問題解決型学習）を導入したものづくりワークショップを実施しました。ワークショップでは各グループで考えた物語を自作のからくりで表現し撮影したショートムービーの作製や、酒蔵見学（八戸酒類株式会社八鶴工場）による日本の伝統的発酵技術の学習ならびに様々な材料を用いた醸造体験学習にチャレンジし、各グループ英語でコミュニケーションを取りながらオリジナリティ溢れる作品を生み出していました。ワークショップの成果を八戸ポータルミュージアムはっちにて発表し互いの努力を称えあいました。



黒崎灯台での記念撮影

平成 25 年度 各種大会日程等

第 50 回東北地区高等専門学校体育大会

平成 25 年 7 月 5 日（金）～7 日（日）にかけて、
第 50 回東北地区高等専門学校体育大会が開催され
ます（ラグビーフットボールは 10 月 18 日～22
日に開催）。

A 大会（仙台高専広瀬キャンパス）

種目	日時	会場
陸上競技	7 月 6 日（土） 9：00～	仙台市陸上競技場
バスケットボール	7 月 5 日（金） 16：00～	仙台市体育館
卓球	7 月 5 日（金） 16：00～	仙台市泉総合運動場 体育館
剣道	7 月 6 日（土） 9：00～	宮城県武道館 剣道場
テニス	7 月 5 日（金） 16：30～	[晴天時] シェルコムせんだい、 仙台市総合運動場泉庭球場 [雨天時] シェルコムせんだい
ハンドボール	7 月 6 日（土） 9：00～	元気フィールド仙台 宮城野体育館
ラグビーフットボール	10 月 19 日（土） 10:30～	宮城県サッカー場

B 大会（鶴岡高専）

種目	日時	会場
バレーボール	7 月 5 日（金） 17：00～	酒田市国体記念体育館
ソフトテニス	7 月 6 日（土） 8：30～	鶴岡市小真木原テニスコート
柔道	7 月 6 日（土） 9：00～	鶴岡市朝陽武道館
硬式野球	7 月 5 日（金） 17：00～	鶴岡市小真木原野球場
サッカー	7 月 6 日（土） 9：00～	鶴岡市小真木原陸上競技場
水泳	7 月 6 日（土） 9：30～	鶴岡市民プール
バドミントン	7 月 5 日（金） 16：00～	鶴岡市小牧原総合体育館

本田宗一郎杯 Honda エコマイレッジチャレンジ 2013 年 第 33 回全国大会（エコラン）

10 月 5 日（土）練習走行、10 月 6 日（日）決勝
会場：ツインリンクもてぎ

アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト 2013（ロボコン）

課題：『Shall We Jump?』

東北大会：10 月 13 日（日）

一関市総合体育館（ユードーム）
（岩手県一関市、主管校 一関高専）

全国大会：11 月 24 日（日）

両国国技館（東京都・墨田区）

全国高等専門学校

第 24 回 プログラミングコンテスト（プロコン）

本選：10 月 13 日（日）～14 日（月）

会場：旭川市民文化会館（主管校 旭川高専）

全国高等専門学校

デザインコンペティション 2013 in 米子 （高専デザコン 2013）

メインテーマ：『かえる』

本選：11 月 8 日（金）～10 日（日）

メイン会場：米子今ペンションセンターBIGSHIP
（主管校 米子高専）

学科からのメッセージ

機 械 工 学 科

【進路状況】この3月に機械工学科を卒業した42名のうち28名が就職、14名が進学しました。求人は554社で前年度より50社ほど増加しました。一方、今年度の5年生は43名で、就職希望27名、進学希望16名(37%)と、進学希望者の割合がやや増えました。6月中旬時点で数名が就職活動を継続中であり、進学希望者は受験に向けた勉強に励んでいます。専攻科(機械系)は2名とも就職を希望し、既に希望企業に内々定しています。

【校内体育大会】5月23日に創立50周年記念の校内体育大会が開催され、機械工学科は昨年に引き続き準優勝に甘んじました。綱引き、玉入れ、応援合戦などの団体種目では優勝して強さを見せたものの、リレーや100m走、ヘラクレスなどで得点が伸びず、来年度へ向けて走力の向上が課題となりました。一方、昨年度に観衆を魅了した応援合戦では、さらに充実した内容で一糸乱れぬ(?)演技を見せ、他学科を圧倒して見事連覇を成し遂げました。体育大会の名物に、また機械工学科の良き伝統になりつつあります。

【その他】創立50周年記念事業に関連して、卒業生の皆様にはいろいろなところでご協力いただいております。ありがとうございます。これを機に、クラス幹事の方を中心に横の連絡を取り合い、継続的に交流していただければと考えています。幹事の方にはご苦勞をおかけしますがよろしく願いいたします。また皆様のご活躍の状況をいろいろな方法で後輩達や社会に対して広報していきたいと思っております。是非、情報をお寄せ下さい。

(機械工学科長 武尾文雄)

電 気 情 報 工 学 科

【進路】6月20日現在で、5学年38名中就職希望者が22名(内々定19名)、進学希望者が16名(専攻科推薦選抜合格4名)です。機械電気システム工学専攻・電気系2年の就職希望者は3名(内々定2名)、進学希望者が3名です。本科、専攻科ともに例年より進学希望の割合が多くなっています。就職希望で内々定を得た学生の6割は第1志望の会社に採用が決まりました。

【公開講座】今年も7月に、第2種電気工事士事前講習会や小中学生を対象としたロボット教室を開催します。昨年度の電気工事士事前講習の受講者は24名でした。

【在学生の様子】恒例の体育大会では電気情報工学科の全学生が集まり、2週間前から毎日応援合戦の練習をし、当日の昼食にはあらかじめ手配しておいたトン汁を全員で食べ、前例がないほどに盛り上がりました。結果は団体第3位でした。

全国の高専3年生を対象として毎年行われている数学と物理の統一到達度試験において、電気情報工学科の学生は、ここ数年、全国平均も本校平均も大きく上回る抜群の成績を収めています。

電気関係学会東北支部連合大会において優秀な発表を行った若手研究者を対象とする電気学会論文発表賞Bを、熱マイクロセンサーの薄膜について発表した専攻科2年の斉藤直哉君(吉田研究室)が受賞しました。

【最後に】公開で行っている卒業研究発表会の情報など学科の近況につきましてはホームページでご覧いただけます。また、お近くにお越しの際には、お気軽にお立ち寄りください。卒業生・修了生の皆さんの近況をお聞きできることを楽しみにしております。

(電気情報工学科長 工藤隆男)

物質工学科

【進路状況】昨年度の物質工学科卒業生は 39 名（男 22 女 17）で、就職 23 名（男 13 女 10）、進学 16 名（男 9 女 7）でした。専攻科物質工学専攻の学生は 8 名（男 6 女 2）修了し、就職 5 名（男 3 女 2）、進学 3 名でした。進学者は東京工業大学大学院 2 名、北海道大学大学院 1 名と有名大学院に進学しました。一方、今年度本科 5 年生は 42 名（男 22 女 20）で、就職希望 19 名（男 6 女 13）、進学希望 23 名（男 16 女 7）です。また、専攻科 2 年生は 12 名（男子のみ）で就職希望 4 名、進学希望 8 名です。どちらも例年に比べ進学希望者の割合が増えております。

【校内体育大会】昨年の校内体育大会では、物質工学科は 9 年ぶり通算 2 回目の総合優勝を飾りました。長い高専の歴史の中での快挙でした。今年度は残念ながら 4 位でした。

【見学旅行】昨年度 4 年生の見学旅行は 11 月 6 日（火）～11 月 9 日（金）に行われ、関東化学株式会社、日本ゼオン株式会社、サッポロビール株式会社 千葉工場、出光興産株式会社 千葉製油所を見学させていただきました。先輩方々も説明に加わっていただいたりして学生にとり充実した見学になったようです。ありがとうございました。

【主催イベント】中学生向けの「化学の学校」を昨年は 11 月 3 日に開催、中学 1～3 年生 57 名が参加して様々な実験を楽しんでもらいました。また、中学校理科教員向け『中学校理科実験のスキルアップ講座』を 12 月 25 日に開催、中学校教員 24 名が様々な実験に参加しました。今年度もそれぞれ 11 月と 12 月に開催予定です。

【最後に】創立 50 周年記念事業等、様々な面で卒業生の皆様にはご協力いただきありがとうございます。これからも、物質工学科の学生、教職員へのご支援ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

（物質工学科長 中村重人）

建設環境工学科

【進路状況】 この 3 月に建設環境工学科を卒業した 42 名の内、27 名が就職、15 名が進学いたしました。就職の内訳は、6 名が公務員として、青森県、宮城県そして東京都と東日本に広く勤めています。また、JR 各社や電力等のインフラ関連を中心に 21 名が民間企業に勤めております。専攻科生は、大学院 1 名、公務員 2 名、民間企業 3 名となっています。一方、今年度の第 5 学年生は 42 名で、就職希望 24 名、進学希望が 18 名となっております。就職 24 名の内、17 名が民間企業を、7 名が公務員を希望しております。数名が民間企業就職活動を続けております。また、6 月中旬から大学等の編入試験が有り、公務員の試験は 9 月に集中しており、学生は準備に励んでいます。専攻科生は、進学希望 2 名、民間企業 4 名（3 名内定）となっています。

【新入生歓迎会と校内体育大会】昭和 43 年に土木工学科が設立されて以来、Z 科の新入生歓迎会は「相撲」が伝統でした。これが行われなくなって 30 年程経ちました。今年 4 月に合併教室で、新たなスタイルで学科主催の新 1 年生の歓迎会が実施されました。また、今年の校内体育大会で、30 年ぶりの総合優勝を飾りました。全員の団結力・総合力での優勝でした。また、同日の「クラス T シャツコンテスト」でも Z5 クラスが第一位となりました。復活を喜びつつ、継承される事を期待しています。

【最後に】 1 年間の人事交流で木更津高専から青木先生を迎えております。また、創立 50 周年記念事業等、卒業生の皆様の御協力に感謝申し上げます。クラス幹事をはじめ、卒業生のネットワークの強さを改めて感じております。是非、帰省等で近くにお越しの際には、お気軽に学校にお立ち寄り下さい。卒業生&修了生の皆様からの情報を楽しみにしております。

（建設環境工学科長 南将人）

平成 25 年度 事務局短信

★八戸高専 50 周年記念事業へのご協力について

平成 25 年度八戸高専は創立 50 周年の節目を迎えます。これを記念いたしまして、創立 50 周年記念式典・講演会の開催、創立 50 周年記念講義室の整備等、様々な記念事業が計画されており、同窓会としても同事業へ全面的な協力を行いたいと考えております。つきましては会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

★10 年会費（7000 円）納入のお願い

今年度は、平成 5 年 3 月卒業（MEC-26 回生、Z-21 回生）および平成 15 年 3 月卒業（MEC-36 回生、Z-31 回生）の方が 10 年会費納入期にあたります。請求書が同封されておりますので、会費納入をお願いいたします。また、それ以外の同窓生で未納の方も会費納入をお願いいたします。

（注）封筒に添付されている宛名シールに星印がありますが、星印の数が 10 年会費納入までの残りの年数を示しています。従って、星印の無い方が会費を納入する必要があります。

★住所調査葉書

同窓会名簿データ更新のため今年度は全会員から住所調査返信をお願いいたします。住所や職場の変更の有無にかかわらず同封の葉書にて同窓会宛に返送してください。また、同窓会では経費削減のため会報発行、事務連絡を電子メールで実施することを検討しています。この機会に E-mail アドレスの記入をお願いいたします。

なお、同窓会名簿で非公開としたい情報は、はがきのチェック欄にレ印を記入ください。ただし、同窓会の会員データとして情報が必要ですので住所等は必ず記載してください。

★会員名簿（平成 25 年度版）の注文方法のお知らせ

名簿は平成 25 年 11 月に作成する予定です。名簿の購入を希望される方は、同封の住所調査葉書に名簿注文欄がありますので、○印を付けて返送してください。12 月頃にお送りします。値段は実費（送料込 1,500 円）ですので、名簿到着後、名簿に同封されている振込用紙にてご送金ください。送金をお忘れにならないようご注意ください。

★同窓会会報等の送付先について

同窓会からの会報などの送付先を、勤務先にしたい方は住所調査葉書に記載欄を設けておりますのでご利用ください。

★クラス会活動補助金について

同窓会では、クラス会活動の活性化を目的に「クラス会活動補助金」が予算化されております。1 クラスあたり 10,000 円で、先着 10 クラスまでとし、連絡先を明記したクラス名簿およびクラス会報告（写真などを含む）が義務付けられます。

★その他

同窓会は個人情報保護法の規制団体ではありませんが、連絡いただいた情報の管理は厳格に行っております。また、住所等の情報について特別な事情がある場合には同窓会事務局まで連絡してください。

平成 25 年度 4 月現在の総会員数 6,377 名

平成 24 年度 事業報告

平成 24 年度は以下の事業を行いました。

年度	月	項目
24	4/9	事務局打ち合わせ会議開催
	5/12	正副会長、事務局打ち合わせ会議開催（八戸）
	5/26	評議会開催（八戸）
	6/25	会報第 38 号発行および住所調査実施
	8/25	評議会開催（八戸）
	9/15	理事会開催（八戸）
	9/15	第 22 回総会（八戸）
	11/17	学校関係者との懇談会
	3/19	新入会員（第 46 期生）入会式実施

第 22 回総会（八戸）報告

平成 24 年 9 月 15 日(土)、八戸グランドホテルにて第 22 回総会が 65 名の参加を得て開催されました。総会では、平成 22、23 年度事業・会計報告、会計監査報告、平成 24 年度事業経過報告、同会計経過報告、平成 25、26 年度事業計画・予算案ならびに役員改選等について審議されそれぞれが承認されております。また、事務局から、10 年会費積立金から支出割合が大きい同窓会報発行を電子化し、同窓会ホームページに掲載することで経費削減を図る提案がなされ承認されました。総会の後、八戸工業高等専門学校 岡田校長による講演会が開催されました。

